

英語活動指導案

平成 20 年 10 月 30(木)・11 月 5・12(水)・17 日(月)

6 年 1 組 指導者 T₁ 松田 康子

T₂ ALT

1 単元名 「行ってみたい国を紹介しよう」 (全 4 時間)

主な使用表現 I want to go to ~. , I want to ~. , 国名

2 単元の考察

教材観

児童は、第 5 学年までの英語活動において、英語での簡単な挨拶や色や数、スポーツの名前、動物、乗り物、食べ物などの身近なものの名前を表す単語に触れてきた。また、前単元の「鎌倉の道案内をしよう」では、「～は、どこですか。」と、尋ねる表現や方向、建物を示す言葉を使って道案内を体験する活動を行ってきた。その中で、相手にはっきり伝えることの難しさや、伝わったときのうれしさを味わってきた。また、“Excuse me.” “Thank you.” “You're welcome.” などの決められた挨拶の表現の大切さにも少しずつ触れてきた。

近年、テレビや新聞、書籍などで、児童が、世界の国の情報に触れる機会は増えている。また、オリンピックが、夏に開催されたこともあり、外国への関心は、高いと思われる。そこで、本単元では、国旗やその国の特徴を結び付けて考える活動や、自分の行きたい国やその理由を考えて紹介する活動をすることで、世界の文化について触れる機会をもち、様々な国についての興味・関心を深めることができる考える。そして、「将来、外国に行ってみたい」「その国の人と話してみたい」「その国の様子をもっと知りたい」という、児童の夢が広がってくることも期待できる。また、普段カタカナで表されている国の名前と、英語とでは、発音やアクセントが違うことに気付かせることができるので、児童の興味をひきやすいと考える。さらに、ゲームの中で、相手にはっきりと伝えたり、相手の言っていることをしっかり聞いたりする活動を取り入れることで、人とのかかわる場面で必要な「すみません」「ありがとう」「どういたしまして」というやりとりの大切さに気付かせることのできる機会になると考える。このように、本単元は、世界の国の言語や文化に触れるとともに、ゲーム活動や紹介活動を通して、興味をもって人とコミュニケーションを図ることを楽しもうとする態度を育むのに適した単元であると考えられる。

3 指導方針

- ・「アクションタイム」では、聞いて反応する活動として、世界の国クイズ・国旗ビンゴゲーム・どこの国の食べ物でしょうクイズ・食べ物カルタなど、世界の国の文化に触れながら、集中して聞いたり、考えながら聞いて言葉の違いに気付いたりしながら、相手の言っていることを聞き取ろうとする活動を取り入れる。
- ・「エンジョイタイム」では、たくさんやりとりする活動として、「行きたいな。食べたいな。」ゲーム・インタビュービンゴゲームなど、人とかかわりの場を広げ、だれとでも仲よくできるゲーム活動を取り入れる。
- ・「チャレンジタイム」では、自分の行きたい国とその理由を友達に紹介して、それに対する反応をもらう体験することで、人とかかわることを楽しむことができる活動を取り入れる。

- ・ 国名の普段のカタカナの発音と、英語の発音やアクセントの違いに気付くことができるように、A L Tに発音してもらう。
- ・ 児童が、世界のことで興味があると答えていた食べ物を題材として扱うことで、世界の国々に対する興味・関心を高めたりできる機会となるようにする。
- ・ 教師とA L Tのデモンストレーションを見せることや絵カードを提示すること、児童に分かりやすいゲームを取り入れることで、児童が活動に興味をもって、楽しく取り組めるようにする。
- ・ 活動に戸惑っている児童がいないか、児童と一緒に活動することで、様子をみとるようにする。
- ・ 発話に自信のもてない児童には、そばに行って一緒に発話したり、活動を援助したりすることで、発話に少しでも自信がもてるようにする。
- ・ 賞賛の言葉がけをすることで、進んで活動できる児童の意欲をさらに高めるようにする。また、励ましの言葉がけをすることで、児童が達成感を味わえるようにする。
- ・ 振り返りカードに励ましや賞賛の言葉を記入して児童に返すことで、児童が、満足感を味わったり、自分のがんばりに気付いたりできるようにする。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

自分の思いがはっきり伝わるように発表したり、友達の発表を聞いたりしながら、互いの伝えたいことが分かる喜びを味わう。

(2) 単元の評価規準

評価の観点	評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動に進んで取り組もうとしている。 ・ 相手の言葉を注意深く聞こうとしている。 ・ だれにでも話しかけようとしている。 ・ 会話のやりとりを楽しもうとしている。 ・ 友達の発表を聞き取ろうとしている。
表現活動への積極性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の行ってみたい国とその理由を分かりやすく伝えようとしている。
言語や文化への興味・関心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国によって国旗や特徴が違うことに気付こうとしている。 ・ 国名のカタカナ表現と英語との発音やアクセントの違いに気付こうとしている。 ・ 世界の国々の言語や文化に触れる中で、進んで自分の行きたい国について調べようとしている。

5 単元の活動計画

「行ってみたい国を紹介しよう」(全4時間)

単元名	行ってみたい国を紹介しよう			
時間	第1時	第2時	第3時	第4時
ねらい	クイズを通して、世界の国の名前や国旗とその特徴に気付こうとする。	ゲームを通して、世界の国の名前に慣れ親しむとともに、進んでゲームに参加しようとする。	食べ物カルタゲームやインタビュービンゴゲームを通して、友達とやりとりをしながら、進んで友達に話しかけたり、答えたりしようとする。	自分の行ってみたい国とその理由を伝えたり、友達の発表を聞いたりしながら、自分の伝えたいことが伝わる喜びや相手の伝えたいことが分かる喜びを味わう。
アクションタイム	世界の国クイズ をする。 ・国名の漢字表記、カタカナ、国旗、特徴を同じ国同士で、線をつなぐ。 ・黒板にそれぞれの絵カードを国ごとに貼る。 CDを聞いて、 線つなぎゲーム をする。(英語ノートp39)	“I want to go to 国名。”を聞いて、 国旗ビンゴゲーム をする。 食べ物の絵カードを見ながら、どの国の食べ物かを考えて、国旗カードを上げる どこの国の食べ物でしようクイズ をする。	出題者を交代しながら、“I want to go to 国名。”を聞いて、その国の食べ物カードを取る、 食べ物カルタゲーム をする。	どの国とかがわりの深い動物かを考える、 動物クイズ をする。
使用表現及び単語	世界の国の名前 I want to go to ~.	I want to go to ~. 世界の国の名前 I want to eat ~. 食べ物の名前	I want to go to ~. 世界の国の名前 I want to eat ~. 食べ物の名前	I want to see ~. 動物の名前
エンジョイタイム		相手をさがして、“I want to go to ~. I want to eat ~.”と言って、食べ物カードを集める、 行きたいな。食べたいなゲーム をする。	相手をさがして、“Where do you want to go?”と、インタビューをして、答えてもらった国の食べ物でビンゴをする インタビュービンゴゲーム をする。	
使用表現及び単語		I want to go to ~. 世界の国の名前 I want to eat ~. 食べ物の名前	Where do you want to go? I want to go to ~. 世界の国の名前 I want to eat ~. 食べ物の名前	
チャレンジタイム				自分の行ってみたい国とその理由を多くの友達に伝え合い、感想を書いたメッセージカードを交換したり、友達の発表を聞いたりする。
使用表現及び単語				I want to go to ~. 行ってみたい国の名前 I want to eat ~. I want to see ~. などの理由

6 授業仮説

「行ってみたい国を紹介しよう」の単元において、自分の行ってみたい国とその理由を伝える体験に、人とのかかわりを大切にする「三つの活動場面」として、アクションタイム・エンジョイタイム・チャレンジタイムを段階的に取り入れた活動を行えば、自分の気持ちや思いを伝える喜びを味わうことができ、コミュニケーションを楽しもうとする態度の育成につながるであろう。

7 活動案

第1時の活動 「世界の国と国旗を知ろう」

平成20年10月30日(木) 第4校時 6年1組 教室

(1) 本時のねらい

クイズを通して、世界の国の名前や国旗とその特徴に気付く。

(2) 準備

『英語ノート』・CD・世界の国クイズのプリント・国旗カード・国名カード・国の特徴カード・実物投影機・プロジェクタ・振り返りカード

(3) 使用表現及び単語

世界の国の名前、I want to go to ~.

(4) 展開

時 間 (分)	児童の活動	教師の活動	A L T の活動	支援及び留意点 評価項目(観点)<方法> *国際理解の視点	英語ノート・教材
(10)	ウォーミングアップ				

	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT と挨拶をする。 ・隣同士で挨拶をする。 ・12 Months of the Year の歌を歌う 	児童と一緒に挨拶をする。 <div>絵カードをはりながら一緒に歌う。</div>	児童全体に挨拶をする。 <div></div>	元気に挨拶できたことを賞賛する。 言葉だけでなく、表情でも気持ちを表すように伝える。 楽しく歌えるように絵カードを提示する。	12 か月の絵カード CD
(30)	アクションタイム <ul style="list-style-type: none"> ・ALT からアメリカの話聞く。 世界の国クイズをする。 ・世界の国の漢字表記、国旗、特徴となる絵がかかれたプリントを見て、どの国のことか線でつなぐ。 ・順番に前に出て、答えのカードをはる。 ・世界の国の国旗と国名の表現を知る。全員で言う。 ・デモンストレーションを見て、第4時に行きたい国とその理由を紹介する活動を知ることを知る。 線つなぎゲームをする。 ・『英語ノート』のp39を見ながら、CDを聞く。 ・CDで聞いた通りに、人物と国旗と行きたい理由を線でつなぐ。 	児童と一緒に聞く。 <div>プリントを配って、世界の国クイズのやり方の説明をする。</div> 児童の解答の補助をしながら、その国の説明をする。 <div>国旗カードを見ながら、行きたい国を尋ねる会話をデモンストレーションで示す。 H: Where do you want to go ? A: I want to go to Italy. H: Why? A: I want to eat pizza. H: That's nice.</div>	アメリカの観光地の写真を見せながら、話しをする。 <div>プリントを配って、世界の国クイズのやり方の説明をする。</div> 国名を表現する。 <div>行きたい国とその理由を言う。</div> <div>『英語ノート』P39の人物や国旗等に触れながら、線つなぎゲームのやり方を説明する。</div>	ALT に出身国のアメリカの話や写真を見せることで、関心を高めるようにする。 * 外国の名前の漢字表記や国旗、各国の特徴などを扱うことで、世界の国々への興味をもたせるようにする。 発音やアクセントが、カタカナとは違うことに気付かせるようにする。 国旗カードを指しながら、国名を全員で言うようにすることで、自信をもって発話できるようにする。 * 国によって国旗が違うことや世界にはたくさんの国があることに気付いている。(言語や文化への興味・関心) <発表観察> 第4時に、自分の行きたい国とその理由を発表することを知らせることで、世界の国への興味をもたせ、目的をもって活動できるようにする。 行きたい国とその理由を言っているCDを聞かせることで、第4時の発表の様子をつかませるようにする。 全文が分からなくても一部の単語から、全体を推測させることにより、興味をもてるようにする。 行きたい国の名前やその理由を単語	プロジェクタ・スクリーン クイズのプリント 国旗カード・国名カード・国名漢字カード・国の特徴カード CD48 『英語ノート』

	・国旗チャンツをする。		CD をかける。	をたよりに聞こうとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ＜行動観察・英語ノート＞	国旗カード
(5)	振り返りカードを書く。	記入している児童の間を回りながら、言葉かけをする。		しっかり聞けたかどうか、自分の活動を思い出しながら、振り返りカードに記入するように助言する。 良かったことを具体的に伝えたり、次時の活動を知らせたりすることで、次時への意欲を高めるようにする。	振り返りカード

第2時の活動 「行きたいな。食べたいな。」

平成20年11月5日(水) 第6校時 6年1組 教室

(1) 本時のねらい

ゲームを通して、世界の国の名前に慣れ親しむとともに、進んでゲームに参加しようとする。

(2) 準備

C D ・ 国旗カード ・ ビンゴシート ・ 食べ物カード ・ 振り返りカード

(3) 使用表現及び単語

I want to go to ～. , I want to eat ～. , 第1時で使用した国名、食べ物の名前

(4) 展開

時間 (分)	児童の活動	教師の活動	A L T の活動	支援及び留意点 評価項目(観点)＜方法＞ *国際理解の視点	英語ノート・教材
(10)	ウォーミングアップ ・ALT と挨拶をする。 ・隣同士で挨拶をする。 ・12 Months of the Year の歌を歌う。 ・国名チャンツをする。	児童と一緒に挨拶をする。 絵カードをはりながら一緒に歌う。 国旗カードと国名カードをはりながら、一緒にチャンツをする。	児童全体に挨拶をする。	元気よく挨拶できたことを賞賛する。 言葉だけでなく、表情でも気持ちを表すように伝える。 楽しく歌えるように絵カードを提示する。 リズムよく言えるようにする。	12 か月の絵カード CD
(10)	アクションタイム 国旗ビンゴゲーム をする。 ・国旗カードを、縦横3列のビンゴシートに置く。 ・ALT や教師が言う国が出たら、裏返す。 ・縦横斜めのどれか1列が	国旗ビンゴゲームのやり方を説明する。 H: Where do you want to go ? A: I want to go to China. 戸惑っている児童は	国名を言う。	あらかじめ線だけ描いたビンゴシートを用意しておく。 何度も聞かせることができるように、テンポよく発音していく。 ビンゴが出たら、またカードを並べ直すように指示し、何度も繰り返し	ビンゴシート・国旗カード

	<p>裏返しになったら、「ビンゴ」と言う。</p> <p>どこの国の食べ物でしようクイズをする。</p> <p>・食べ物カードと国旗カードを組み合わせる。</p> <p>・やりとりを見ながら、"I want to eat ~."の使い方を考える。</p>	<p>食べ物カードを見せながら、出題する。やりとりをしながら、解答を知らせる。</p> <p>H: What's this?</p> <p>C: It's curry.</p> <p>H: Where is curry from?</p> <p>C: India.</p> <p>A: I want to go to India. I want to eat curry .</p>	<p>できるようにする。</p> <p>児童の中に一緒に入ること、全員、できているかきちんと確認できるようにする。</p> <p>国名を聞いて、進んで国旗ビンゴゲームに取り組んでいる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p><行動観察></p> <p>* どこの国の食べ物が考えることで、世界の国々への興味をもたせるようにする。</p> <p>* 日本での言い方との発音やアクセントの違いに気付かせるようにする。</p> <p>* 各国の食べ物の特徴や発音やアクセントの違いに気付いている。(言語や文化への興味・関心) <発表観察></p>	食べ物カード	
(20)	<p>エンジョイタイム</p> <p>「行きたいな。食べたいな」ゲームをする。</p> <p>・AグループBグループに分かれ、Aは、国旗カードを持つ。Bは、食べ物カードを持つ。</p> <p>・Aは、相手を見付けて、自分の持っている国旗カードから一つ選んで、"I want to go to 国名."と話しかける。</p> <p>・Bは、Aの言った国の食べ物カードがあったら、Aにカードを渡す。</p> <p>・相手を替えて、繰り返す。</p> <p>・AとBの役割を交代する。</p>	<p>デモンストレーションをしながら、ゲームやり方の説明をする。</p> <p>A: Excuse me. I want to go to Italy.</p> <p>I want to eat pizza.</p> <p>H: Me,too. Here you are.</p> <p>A: Thank you.</p> <p>H: You're welcome. See you.</p> <p>(別の人を捜す)</p> <p>A: Excuse me. I want to go to India.</p> <p>I want to eat curry.</p> <p>H: I'm sorry.</p> <p>A: You're welcome. See you.</p>	<p>戸惑っている児童は発話に自信のない児童に寄り添って、一緒に発話する。</p>	<p>"Thank you." "You're welcome."といったやりとりの言葉にも気を付けさせることで、会話のマナーにも気付かせるようにする。</p> <p>ペアの相手を替えていくことで、たくさんの児童とかかわりの場を広げていくようにする。</p> <p>国名の表現を忘れたら、手をあげて教師に助けてもらって良いこととし、安心して活動できるようにする。</p> <p>自分から進んで、ペアを見つけて、話しかけたり、相手のほしいカードは何かをしっかりと聞いたりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p><行動観察></p>	国旗カード
(5)	<p>振り返りカードを書く。</p>	<p>記入している児童の間を回りながら、言葉かけをする。</p>	<p>友達と協力しながら、進んで活動できたかどうか、自分の活動を思い出ししながら、振り返りカードに記入するように助言する。</p>	振り返りカード	

				良かったことを具体的に伝えたり、 次時の活動を知らせたりすることで、 次時への意欲を高めるようにする。	
--	--	--	--	---	--

第3時の活動 「行きたいところは、どこですか。」

平成20年11月12日(水) 第6校時 6年1組 教室

(1) 本時のねらい

食べ物カルタゲームやインタビュービンゴゲームを通して、友達とやりとりをしながら、進んで友達に話しかけたり、答えたりしようとする。

(2) 準備

C D ・ 国旗カード ・ 食べ物カード ・ ビンゴシート ・ 板 ・ 振り返りカード

(3) 使用表現及び単語

I want to go to ~. , I want to eat ~. , Where do you want to go?

第2時で使用した国名、食べ物の名前

(4) 展開

時 間 (分)	児童の活動	教師の活動	A L T の活動	支援及び留意点 評価項目（観点）＜方法＞ ＊国際理解の視点	英語ノ ート・教材
(10)	ウォーミングアップ ・ALT と挨拶をする。 ・友達と挨拶をする。 ・12 Months of the year の歌を歌う。	児童と一緒に挨拶をする。 <div>絵カードをはりながら一緒に歌う。</div>	児童全体に挨拶をする。	言葉だけでなく、表情でも気持ちを表すように伝える。 B G M をかけて、楽しい雰囲気の中で挨拶できるようにする。 楽しく歌えるように絵カードを提示する。	CD 12 か月の絵カード
(10)	<div>アクションタイム</div> ・A L T に “ Where do you want to go? ” と聞く。 食べ物カルタ をする。 ・3人組になって、食べ物カードを並べる。1人が “ I	<div>C: Where do you want to go? A: I want to go to Italy. I want to eat pizza. 答えてから、国旗カードと食べ物カードをはる。やりとりを続ける。 “ I want to go to 国名. I want to eat 食べ物.” を児童と一緒に発話していく。</div> <div>食べ物カルタのやり方を説明する。 H: Where do you want to go?</div>		カードをはって一緒に発話していくことで、前時の活動を思い出せるようにする。 ＊ 食べ物と国のかかわりを考えることで、世界の国々への興味をもたせるようにする。 リズムよく言えるようにする。 出題者が国名を言うことで、取る方は、どの食べ物を考えて、カードを	食べ物カード 食べ物カ

	<p>want to go to 国名. ” と、出題する。あとの２人でその国の特徴の食べ物カードを取る。</p> <p>・カードが無くなったら、出題者を交代する。</p> <p>・“ I want to go to 国名. I want to eat 食べ物 ” のチャントをする。</p>	<p>A: I want to go to Italy. (カードを取る。)</p> <p>A: I want to eat pizza.</p> <p>グループを回りながら、発話に自信のない児童に寄り添って一緒に発話する。</p> <p>ジェスチャーを交えながら、児童と一緒に楽しくチャントをする。</p>	<p>取るようにする。</p> <p>出題する人を替えることで、聞くことと答えることの両方を体験できるようにする。</p> <p>出題したり、国名を聞いて食べ物カードを取ったり、進んでカルタに取り組んでいる。</p> <p>(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) < 行動観察 ></p> <p>音楽を使って、楽しく、リズムカルに言えるようにする。</p>	ード
(20)	<p>エンジョイタイム</p> <p>インタビュービンゴゲームをする。</p> <p>・ビンゴシートに食べ物カードをはる。</p> <p>・ペアを見つけて、“ Where do you want to go? ” と聞く。</p> <p>・答えてもらった国の食べ物カードを裏返す。</p> <p>・他の相手を見つけて繰り返す。</p> <p>・ビンゴになったら、シールをもらい、カードを入れ替えて、また、挑戦する。</p> <p>みんなの行きたいところランキングクイズをする。</p> <p>・先日とった行きたいところアンケートの結果を聞いたり、理由を答えたりする。</p>	<p>インタビュービンゴゲームのやり方をデモンストレーションで示す。</p> <p>H: Excuse me. Where do you want to go?</p> <p>A: I want to go to India. I want to eat curry.</p> <p>A: Ok. Thank you.</p> <p>H: You're welcome. See you.</p> <p>児童の活動を見守りながら、シールを渡す。</p> <p>戸惑っている児童がいなければ、確認しながら、一緒に活動する。</p> <p>アンケート結果をランキング形式で発表しながら、行きたい理由を問いつける。</p> <p>H: 第１位は、・・・</p> <p>I want to go to Disney Land.</p> <p>Why?</p> <p>答えた児童に理由を聞いて、A L T が英語で言う。</p>	<p>あらかじめ線の引いてあるビンゴシートとカードを置く板を用意する。</p> <p>“ Thank you. ” “ You're welcome. ” といったやりとりの言葉にも気を付けさせることで、会話のマナーにも気付かせるようにする。</p> <p>ペアの相手を替えていくことで、たくさんの児童とかかわりの場を広げていくようにする。</p> <p>国名や食べ物の表現を忘れたら、手をあげて教師に助けてもらって良いこととし、安心して活動できるようにする。</p> <p>自分から進んで、ペアを見つけて、話しかけたり、相手の言ったことをしっかり聞いたりしている。</p> <p>(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) < 行動観察 ></p> <p>先日とったアンケートの結果を出題することで、興味をもたせるようにする。</p> <p>A L T に、簡単な英語で言ってもらえるようにする。</p>	ビンゴシート・板・食べ物カード

(5)	振り返りカードを書く。	記入している児童の間を回りながら、言葉かけをする。	友達と協力しながら、進んで活動できたかどうか、自分の活動を思い出しながら、振り返りカードに記入するように助言する。 良かったことを具体的に伝えたり、次時の活動を知らせたりすることで、次時への意欲を高めるようにする。	振り返りカード
-----	-------------	---------------------------	--	---------

第4時の活動 「行ってみたい国を紹介しよう」

平成20年11月17日(月) 第5校時 6年1組 教室

(1) 本時のねらい

自分の行ってみたい国とその理由を伝えたり、友達の発表を聞いたりしながら、自分の伝えたいことが伝わる喜びや相手の伝えたいことがわかる喜びを味わう。

(2) 準備

C D・国旗カード・食べ物カード・動物カード・行ってみたい国紹介カード・メッセージカード・振り返りカード

(3) 使用表現及び単語

I want to go to ～. , I want to ～. , Where do you want to go? , 行きたい国の名前とその理由

(4) 展開

時間 (分)	児童の活動	教師の活動	A L T の活動	支援及び留意点 評価項目（観点）＜方法＞ ＊国際理解の視点	英語ノート・教材
(10)	ウォーミングアップ ・ALT と挨拶をする。 ・友達と挨拶をする。 ・12 Months of the Year の歌を歌う。	児童と一緒に挨拶をする。 絵カードをはりながら一緒に歌う。	児童全体に挨拶をする。	言葉だけでなく、表情でも気持ちを表すように伝える。 B G Mをかけて、楽しい雰囲気の中で挨拶できるようにする。 楽しく歌えるように絵カードを提示する。	CD 12 か月の絵カード
(10)	アクションタイム ・“ I want to go to 国名. I want to eat 食べ物 ” のチャンツをする。	国旗カード、食べ物カードをはりながら、児童と一緒に楽しくチャンツをする。 チャンツの最後で I want to go to China. I want to eat pandas. と言う。		音楽を使って、楽しく、リズムカルに言えるようにする。 カードをはって一緒に発話していくことで、前時の活動を思い出せるようにする。	食べ物カード・国旗カード

	<p>・スキットを見て、 I want to see ～. の使い方を考える。</p> <p>動物クイズをする。</p> <p>・どこの国の動物が答え、一緒に発話する。</p>	<p>間違ってしまうことで、どうしたらよいか児童に問いかける。</p> <p>I want to see pandas. であることを知らせる。</p> <p>他の動物について、どこの国とかわりがあるか質問しながら、答えを知らせる。</p> <p>A: Where can I see koalas?</p> <p>C: Australia.</p> <p>A: I want to go to Australia. I want to see koalas.</p>	<p>意図的に間違ってしまうことで、児童に気付かせるようにする。</p> <p>動物カードは、児童が今までに親しんだ動物名を使うようにする。</p> <p>* 動物と国のかかわりを考えることで、世界の国々への興味をもたせるようにする。</p>	動物カード
(20)	<p>チャレンジタイム</p> <p>「行ってみたい国を紹介しよう」をする。</p> <p>・3人組になって、自分の行ってみたい国を紹介し合う。</p> <p>・ペアを見つけて、自分の行ってみたい国を紹介し合う。</p> <p>・相手の話を聞いて、メッセージカードを書いて、交換する。</p> <p>・代表の児童が、前に出て発表する。発表を聞く。</p>	<p>行ってみたい国の紹介の仕方をデモンストレーションで示す。</p> <p>H: Where do you want to go?</p> <p>A: I want to go to France.</p> <p>I want to see the Eiffel Tower.</p> <p>H: The Eiffel Tower?</p> <p>A: Yes. This is the Eiffel Tower.</p> <p>H: That's nice.</p> <p>A: Where do you want to go?</p> <p>H: I want to go to Italy.</p> <p>I want to eat spaghetti.</p> <p>A: That's nice. Thank you.</p> <p>児童の活動を見守りながら、戸惑っている児童がいなかったか、確認しながら、一緒に活動する。</p> <p>他の児童と一緒に発表を聞く。がんばったことを賞賛する。</p>	<p>言葉だけでなく、ジェスチャーや、カードに描いた絵なども使って、伝えられるようにする。</p> <p>ペアの相手を替えていくことで、たくさんの児童とかかわりの場を広げていくようにする。</p> <p>メッセージカードには、聞いて思ったことを簡単に書くようにする。</p> <p>自分から進んで、ペアを見つけて、自分の行ってみたい国とその理由を伝えたり、相手の言ったことをしっかり聞いたりしている。</p> <p>(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) <行動観察></p> <p>なるべく見守るが、困っているときには、支援する。</p> <p>がんばりを賞賛し、認めることでさらに意欲をもたせる。</p> <p>進んで自分の行きたい国を紹介している。(表現活動への積極性)</p> <p><発表観察></p>	行ってみたい国紹介カード
(5)	振り回りカードを書く。	<p>記入している児童の間を回りながら、言葉かけをする。</p>	<p>進んで活動できたかどうか、自分の活動を思い出しながら、振り回りカードに記入するように助言する。</p>	振り回りカード

				<p>単元を通して良かったところを伝えることで、次の単元への意欲を高めるようにする。</p>	
--	--	--	--	--	--